

2020年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然体験活動に関する事業

ア 海事業（事業名称：「海 L♡VE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）・鎌倉アウトリガークラブ・鎌倉ライフガードに協力いただきながら事業を展開する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1/2にして開催。
- ・日 時 ①10月3日（全1回）
- ・場 所 材木座海岸
- ・従事者人員 24人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども15人
- ・支 出 174,266円

イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかつた新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1/2にして開催。
- ・日 時 ①12月13日（全1回）
- ・場 所 鎌倉市内
- ・従事者人員 16人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども11人 大人10人 合計21人
- ・支 出 72,087円

② 芸術創作活動に関する事業

ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・支 出 171,180円

イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内 容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日 時 ①9月6日 ②9月27日 ③10月4日 ④10月18日 ⑤11月29日
⑥12月20日 ⑦1月31日 ⑧2月28日 ⑨3月14日（全9回）
- ・場 所 源氏山公園・オンライン会議システム、株式会社銀の鈴社
- ・従事者人員 112人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：75人 大人：25人 合計100人
- ・支 出 150,612円

② 広報啓発に関する事業

ア 建長寺合宿事業

- ・内 容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする特別イベント。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその喜びを体感する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1日20名に限定して開催。
- ・日 時 8月8日・9日（1日イベント）、10月24～25日（2日間連続イベント）
- ・場 所 臨濟宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 168人（学生：105人・OBOG：6名・大人スタッフ：9人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：40人
- ・支 出 461,558円

イ 妙本寺合宿事業

- ・内 容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿を予定していたが、コロナ禍のためキャンプ場にて宿泊体験を実施。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を1日20名に限定して開催。春には、抽選漏れの子どもたちを対象としたイベントも別途開催した。
- ・日 時 11月14日～15日、3月27日
- ・場 所 横浜市子ども自然公園野外活動センター、源氏山公園
- ・従事者人員 61人（学生：55人・大人：6人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：32人
- ・支 出 402,486円

ウ 光明寺合宿事業

- ・内 容 光明寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。お寺ならではの生活体験とともに、海に近いというロケーションを活用して、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、心の底からの楽しみ

を経験する。そうした経験から、当たり前のことを一所懸命やる大切さとその喜びを体感する。

- ・日 時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・場 所 浄土宗 大本山 光明寺
- ・支 出 37,900 円

エ 子どもの居場所づくり事業(事業名称:「休日てらこやハウス」「平日てらこやハウス」)

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい!」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。コロナ禍のため、オンラインでの事業も開催
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
- ・日 時 2020年4月～2021年3月(緊急事態宣言下では活動自粛)
①休日てらハウス:8月29日対面事業他(全6回)
②平日てらハウス:屋外での活動(全14回)
- ・場 所 鎌倉市大船1-25-23 千里ビル3F
- ・従事者人員 ①38人(学生:32人・大人スタッフ:6人)
②73人(学生:45人・大人スタッフ:28人)
- ・対 象 者 小学1年～中学3年生、高校生
①子ども:19人 ②子ども:19人
- ・支 出 ①576,866円 ②2,215,055円

オ 広報活動・報告書作成事業(事業名称:「鎌倉てらこや広報活動」)

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉朝日」に記事を連載、「鎌倉てらこや」HP・Facebook運営等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」(活動報告会・今年度はオンライン開催)の実施。
- ・日 時 ・「鎌倉朝日」 月1回(毎月1日発行)
・HP・Facebook運営 常時
・鎌倉てらこやHP運営
・鎌倉てらこや活動報告ブログ「てらのすけが行く」運営
・「てらこや感謝祭」(活動報告会)3月6日※オンライン開催
・「てらこやLIVE」(活動写真報告会)※新型コロナ拡大防止のため中止
・絵本販売促進イベント実施
・学生スタッフ一言メッセージリレー実施
- ・場 所 鎌倉市内各所・銀の鈴社ギャラリー・鎌倉大仏殿高德院 他
- ・従事者人員 76人(大学生:64人、大人12人)
- ・対 象 者 参加登録者・発起人・関係団体の方 およそ3,000人
- ・支 出 827,940円

カ 他団体協働事業(事業名称:「都会と田舎を結ぶ食育ネット」)

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携(融合)を進めてゆく。つながりのある「食育ネット」と共同で事業を行い、鎌倉附属小学校との連携を深め

- ていく。2020年度は、附属鎌倉小学校での畑事業の開催
- ・日 時 ①10月10日 ②11月8日 ③11月29日 ④12月6日 ⑤12月13日
⑥12月20日
 - ・場 所 附属鎌倉小学校内太陽農場
 - ・従事者人員 71人（大学生：53人、大人18人）
 - ・対象者 小学校1年生～中学校3年生及び保護者
子ども：66人 大人：21人 合計87人
 - ・支 出 0円

キ ネットワーク事業（事業名称：「てらこやネットワーク」）

し、地域ごとに参加者やスタッフ（学生・大人スタッフ・子ども）の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。

- ・活動内容
 - ・全国てらこやネットワーク10周年記念式典
 - ・全国てらこやネットワーク総会
 - ・全国てらこやオンライン交流事業他
- ・場 所 オンライン会議システム
- ・従事者人員 64人（学生40人・大人24人）
- ・対象者 てらこやネットワーク参加のJ C・地域の協力者の方々
- ・支 出 0円

ク 人材育成事業

- ・内 容
 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業
 2. 学生理事の研修とチームビルディング事業
 3. 事業運営を担う学生の育成事業
 4. コアスタッフ間（大人・事務局・学生）の目的・目標の共有事業
新入大学生のオリエンテーション事業も実施。
- ・日 時
 - ・4～5月：新歓イベント（オンライン説明会等）の実施
 - ・特別企画「出張！お出かけてらハウス」（全26回）の実施
 - ・特別企画「てらこや自習室」（全33回）の実施
 - ・特別企画「合宿同窓会企画」（全2回）の実施
- ・場 所 オンライン会議システム、笠間中央公園、鎌倉中央公園他
- ・従事者人員 221人（学生：189人・大人：32人）
- ・対象者 オリエンテーション：小学校1年生～中学校3年生 子ども：485人
- ・支 出 230,133円

ケ 渉外事業

- ・内 容
 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業
 2. 行政連携を中心とした拡大事業
 3. 地域の諸団体との連携事業
- ・日 時
 - ・鎌倉ひまわりの会・復興支援チャリティコンサートの協働（6月）
 - ・てらこやゼミの実施 他
- ・場 所 鎌倉市内各所
- ・従事者人員 46人（学生：34人・大人：12人）
- ・対象者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
- ・支 出 0円

コ 復興支援事業

- ・内 容
 - ・避難所における子どもたちの遊びと学びのケア（会津てらこや）
 - ・被災遺児孤児を支援する「夢のつばさプロジェクト」への協力以上を「全国てらこやネットワーク」と連携して実施
- ・日 時 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業中止
- ・場 所 福島県会津若松市、鎌倉市内
- ・支 出 800,000 円

ケ 出向事業

- ・内 容 鎌倉市の学童保育施設 16 か所（各こどもの家・放課後かまくらっ子）及び民間学童ふかふかへ、大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という 3 世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。
また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。
- ・日 時 2020 年 4 月～2021 年 3 月毎週各会館 1 回ずつ開催（全 197 回）
（緊急事態宣言下では活動自粛）
- ・場 所 大船こどもの家・山崎こどもの家・富士塚こどもの家・関谷こどもの家・今泉こどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・植木こどもの家・七里ガ浜こどもの家・二階堂こどもの家・御成こどもの家・稲村ガ崎こどもの家・腰越こどもの家・ふかふか
- ・従事者人員 大学生スタッフ：692 人
- ・対 象 者 各学童施設、大船（100 人）・山崎（100 人）・富士塚（40 人）・関谷（40 人）・今泉（40 人）・玉縄（80 人）・西鎌倉（60 人）・小坂（100 人）・第一（60 人）・深沢（100 人）・植木（40 人）・七里ガ浜（30 人）・二階堂（30 人）・御成（100 人）・稲村ガ崎（30 人）・腰越（40 人）・ふかふか（20 人）
に通うに通う小学生
- ・支 出 2,668,712 円